

一人ひとりのちがいを認め合う

1

あなたのすきないろは？

1 ねらい

性別に対して固定的な見方や考え方があることに気づき、性別に関係なく一人ひとりに好きなものや好きなことがあり、互いにそれらを認め合うことの大切さに気づく。

2 準備するもの

- ワークシート（上下を切り分ける）
- クレヨン
- マグネットなど（児童が色を塗った帽子のイラストを黒板に掲示するためのもの）

3 解説

人権教育においては、ありのままの自分を受け入れる自己肯定感や、多様性を認める心を育むことが大切です。しかし、子どもたちは、幼少期から「女の子はピンクや赤」「男の子は青や水色」など性別によって服や持ち物の色分けをされ、その経験から無意識のうちに固定観念にとらわれて、それらの色を選ぶことが当たり前、普通だと思ってしまうことがあります。そのことが、やがては「男だから」「女だから」という性別による役割分担意識を持つことに結びつくと考えられます。

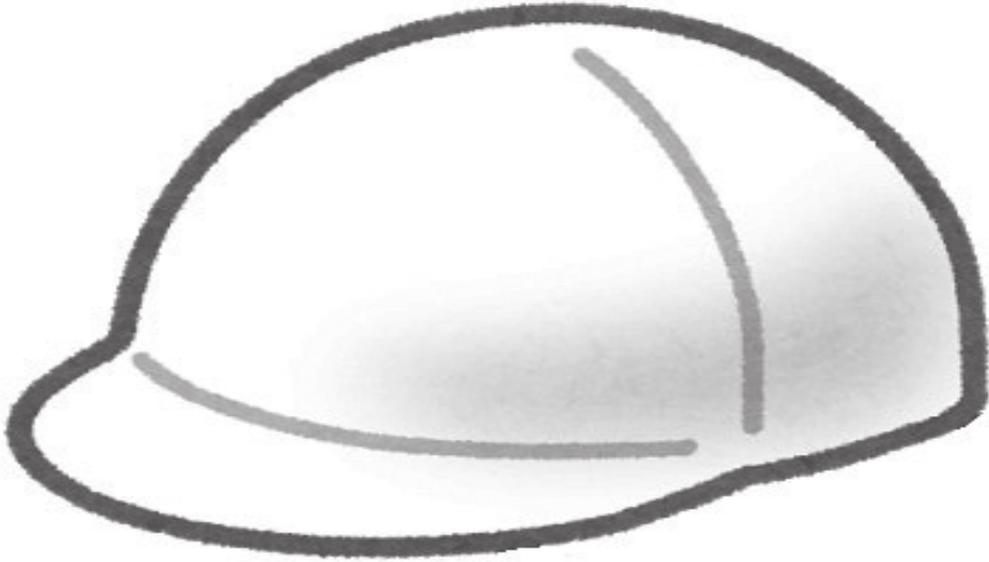
このワークでは、それぞれの児童の色に対する潜在的な意識を顕在化させるために、「性別からイメージされる色」で帽子を塗る活動を行います。次に、全員分の帽子を黒板に貼り、視覚的に固定観念や傾向を捉えられるようにします。その後、自分の好きな色などを確認し、好きなものや好きなことは性別に関係なく一人ひとり異なることを理解して、それらを認め合うことの大切さに気づくことをねらいとしています。

4 進め方（展開例）45分

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項
導入 7分	<p>◆学習の確認（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れの説明を聞く。 <p>◆アイスブレイキング（5分）</p> <p>「好きな〇〇、自己紹介」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自分の一番好きな果物を思い浮かべる。 ②グループ内で「せえの」のかけ声で同時に発表する。 ③それぞれが発表したものをグループ内で確認する。 ④「好きな動物」「好きなおかし」などについて①～③を繰り返す。 ⑤グループで活動の感想を発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4人程度のグループで行う。 ・ねらいやアクティビティとのつながりから、一致しにくいものをテーマにする。
<p>・一人ひとりの好きなものには、ちがいがあることに気づく。</p>		

<p style="text-align: center;">展開 33分</p>	<p>◆アクティビティ (33分) 「男の子のぼうし・女の子のぼうし」</p> <p>①ワークシートの「〇〇のぼうし」の〇〇に自分の分担（男の子または女の子）を書き、帽子にクレヨンで色を塗る。</p> <p>②どうしてその色を選んだのかペアで話す。</p> <p>③ワークシートの色を塗った帽子を黒板に掲げる。</p> <p>④黒板を見て気づいたことや感じたことを、全体で意見交換する。</p> <p>⑤自分が好きな色を確認する。</p> <p>⑥性別によって思い込んでいることがないか考える。</p> <p>⑦⑥について、全体に発表し共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 男の子の帽子と女の子の帽子の人数が約半数になるように分担を決める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【分担例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 男子は「女の子の帽子」、女子は「男の子の帽子」と思う色で塗る。 1～3班は「男の子の帽子」、4～6班は「女の子の帽子」と思う色で塗る。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 色の傾向を捉えやすくするために、1色で塗ること、塗った帽子は黒板に掲示することを伝える。 男の子の帽子と女の子の帽子がはっきりとわかるように、分けて黒板に掲示する。 児童の実態に応じて、児童が個々に掲示したり、誰が塗った帽子なのかわからないように授業者が集めて掲示したりする。 色の種類、明るさなど児童の着眼点を補足しながら発言を板書する。 全体的な傾向とは異なる色や、男の子にも女の子にも共通して使われている色も取り上げつつ、性別と色との固定観念に気づくことができるようにする。 男女で分けた色の傾向と一人ひとりの好きな色は必ずしも一致しないことを確認する。 好きなおもちゃ、好きな遊びなど性別によって好みが変わりそうなものをいくつか取り上げ、好みにも多様性があることに気づくよう促す。
<p style="text-align: center;">まとめ 5分</p>	<p>◆まとめ (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> まとめの話を聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 無意識に固定的な見方や考え方を持っていることに気づく。 性別に関係なく、好きなものや好きなことを選んでよい。 一人ひとりのちがいを理解し、尊重し合うことが大切である。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 自分が好きな色でワークシートの「わたしのぼうし」を塗る。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業を通して児童から出された考えなどをもとに、ねらいをおさえまとめる。 児童の固定観念は大人の影響が強いため、保護者にも学習内容を理解してもらうことをねらいとして、家庭学習などで扱うことも考えられる。

のぼうし



わたしのぼうし

()ねん()くみ なまえ()

わたしのすきないろは_____です。

